

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 観光視点・地域資源を
ビジネスに



Vol. 52

観光視点・地域資源を ビジネスに

2024年の新幹線開業や中部縦貫自動車道の開通を控え、県内では様々な動きが活発になっています。また福井県には、恐竜・伝統産業・農産物などの地域資源が多くあります。今回の特集では、観光客の受け入れ強化や地域資源を活かした商品・ビジネス展開を行う企業の取り組みや役立つ情報をお届けします。

CASE 1 北前船豪商の別邸を活用、 人と地域と産業をつなぐ。

1922年創業の老舗塗箸メーカー株式会社マツ勘。2021年5月に、「旧古河屋別邸」を改修・活用し、誰もが気軽に集える「みんなの別邸」として『GOSHOPEN』をオープンしました。小浜のまちと若狭塗箸産業のこれから100年を見据えた取り組みを、代表取締役 松本啓典氏に伺いました。



代表取締役
松本 啓典 氏



「GOSHOPEN」
HPはコチラ！

株式会社マツ勘
所在地：小浜市北塩屋16-5
小浜市北塩屋17-4-1（護松園）
代表者：松本 啓典 氏
電話番号：0770-52-5151
事業内容：塗箸・木箸・竹箸の企画・
商品開発・製造販売
「GOSHOPEN」の運営

地元の人も、観光客も みんなが集える別邸を

江戸時代後期1815年に、北前船の豪商が小浜藩主などの賓客をもてなす迎賓館として建てられた旧古河屋別邸「護松園」。福井県指定有形文化財に指定され、2018年以降は小浜市が管理していました。2020年、同社が「護松園」を取得し、市と共同で委員会を立ち上げ活用の方向性を模索。改修には、文化庁の「文化資源活用推進事業」やふくい産業支援センターの「新分野展開スタートアップ支援事業」の補助金などを使用しました。

「文化庁の方で保全以外の活用に対する補助金も出る法改正があり、タイミングよく申請できました。産業支援センターさんからの新しい取り組みに対する補助金も非常に心強かったです」と松本氏は振り返ります。

2021年5月、「護松園」

は「小浜のかけはし」となる、みんなの別邸」をコンセプトに「GOSHOPEN」としてオープン。数寄屋風書院造りの空間に、同社の若狭塗箸の直営店、気軽に立ち寄れるコーヒースタンド、庭を眺めてくつろげるシアースペース『みんなのリビング』、コワー

キングスペースにもなる『みんなの図書館』を配置。「地元の人も、観光客も、みんなが気軽に集える場所を目指しています」と語ります。

次の100年に向けた 塗箸産業の担い手育成

同社が「GOSHOPEN」の運営に至るまでには、来るべき創業100周年と事業承継を見据え、これからの塗箸産業のあり方を模索する思いがありました。「昨年、4代目として事業を継承したのですが、その何年前から次の100年を考えて、いろいろ

なことに取り組んでいました」と松本氏。熟練の若狭塗箸職人の想いを伝える書籍『はしはうたう』の出版に關わったことも、大きな契機となったといいます。「そこで出会った人や経験の中で、自分たちの産業は自分たちで守って未来をつくらないとい

けないと考えるようになり、20〜30年後に起こりうる問題に対して取り組むべきものが見えてきました」。

そのひとつが、若狭塗箸産業の担い手育成です。昔は地域の暮らしの中で身近に感じられた若狭塗箸の仕事が工業化などで疎遠となった今、産

業の担い手に情報を伝えるためにどこかで若狭塗箸に触れる機会が

交流の機会を生む場所 今後も価値ある挑戦を

これまで若狭塗箸として高年齢になった若狭塗箸職人の事業

持てないかと思案していたのだそう。「そのためには人が集まることででき、このまちの歴史も表現できる場所が必要と考えていたところ、行政の中で想いを共有できる人に出会い、「護松園」の運営に行き着きました」と語ります。

承継や、消えゆく技術の伝承などに幅広く取り組んできた同社。伝統を受け継ぎつつ革新的な挑戦を行うのは、先代の父親譲りのなだとか。「35年前、父が塗箸産地で初めて商業デザインを取り入れました。今はどこもそれが主流ですが、一番最初にやったことに価値があります」と自負します。



マツ勘の直営店「箸蔵まつかん」。「買い物に来た人が、つくり手の人と話せる時間をつくれたら」と展望する。

やものづくりの場となっていることを感じてもらうことが大切です」。

今年10月には、同社100周年のイベント開催にあわせ、『GOSHOPEN』の蔵を活かした北前船と若狭塗のミュージアムを開館予定。北陸新幹線延伸開業を控え、人、地域、産業、歴史をつなぐかけはしとして大きな期待が寄せられています。



(上) 庭を見るため縁側の角柱をなくすなど、高度な建築様式が息づく和室。昔の室礼を残した和の空間に、モダンな北欧家具が調和している。
(下) コーヒースタンド「ene」。正面玄関とは別に専用の勝手口があり、若い人も気軽に訪ねることができる。

CONTENTS

表紙 取材企業の商品写真

- 1 観光視点・地域資源をビジネスに
【企業事例①】株マツ勘
- 3 【企業事例②】メガネ素材工房mamas
- 4 【企業事例③】株Cファクトリー
- 5 【企業事例④】増井弘海堂
- 6 コーディネーターインタビュー
- 7 【企業事例⑤】旬米又
- 8 イベントレポート 福井の土産産
- 9 支援センターの事業案内
- 11 よろず支援拠点 経営Q&A
- 12 第7回福井ベンチャーピッチ開催報告
- 13 今月の注目企業 春江電子(株)
- 15 人材育成研修のご案内
- 16 グッドデザインシンキング
- 17 総合相談窓口からのご案内
- 18 DX導入事例のご紹介
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼

活動を通じてショッピングセンターの活性化を「恐竜」を通じて福井県のPRも



ショッピングセンター（以下、SC）でのイベント、インターネット広告の運営を手掛ける株式会社Cファクトリーでは、8年前から福井県公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」のPR活動も行っています。おもてなし産業魅力向上支援事業の採択も受け、3Dシアターも導入しました。今回、担当の重神竜人氏にお話を伺いました。

DATA

株式会社Cファクトリー

所在地:福井市木田3丁目2118 B棟
 代表者:高橋 義英氏
 事業内容:福井県公式キャラクター「Juratic」のPR活動
 「恐竜王国ふくい」の県内外への周知PR活動
 主要SNSを活用した企業・店舗広告の代行



同社HPはコチラ!



福井県公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」© FUKUI/PSF

2004年に創業した同社は、SCでのイベント運営を軸に事業を展開しており、8年前から「Juratic」のPRにも携わっています。コロナ禍ということもあり、現在は月に1回、ライブ配信を実施。3月には誕生から8周年を迎え、記念配信も行いました。重神氏は、「各地から届く年賀状の枚数も増えてきていますし、8年間県内外のイベント等を通じてPRしてきたことで、知名度は少なからず上がったと感じています。恐竜「福井」というイメージも浸透してきたのではないかと感じています」と話します。

県内外でイベントを実施、「Juratic」のPRも

2004年に創業した同社は、SCでのイベント運営を軸に事業を展開しており、8年前から「Juratic」のPRにも携わっています。コロナ禍ということもあり、現在は月に1回、ライブ配信を実施。3月には誕生から8周年を迎え、記念配信も行いました。重神氏は、「各地から届く年賀状の枚数も増えてきていますし、8年間県内外のイベント等を通じてPRしてきたことで、知名度は少なからず上がったと感じています。恐竜「福井」というイメージも浸透してきたのではないかと感じています」と話します。

「3Dシアター」の運営も開始。イベントにも変化を

また、同社は昨年、おもてなし産業魅力向上支援事業の採択も受け、移動式の3Dシアターを導入。シアターはドーム状で、中に入ると360度映像が投影されており、3Dで恐竜の映像を楽しむことができます。「このタイプのモノは珍しく、全国でも導入例は少ないです。イベントにも変化をつけていかなんと楽しんでもらえないので、導入を決めました」と重神氏は説明します。



3Dシアターの様子。迫力のある映像で好評を得ている。

イベント運営を通じて、人と人との繋がりを

同社は創業当初、HPの運

「ここ数年で、県外のSC様からもイベント運営のお声かけをいただけるようになりました。現在はコロナの影響もあり、数が少なくなっていますが、今後は県内外のイベントに持って行って、恐竜に触れてもらえる機会を増やしていければいいですね」。

重神氏は最後に、同社の社長として、「依頼を受けたSC様の事情や規模感に合わせた企画を行う」ことを挙げ、「活動を通じて福井県が活性化し、県外から訪れる人も増えていけば」と展望します。

産地の強みを活かし、眼鏡素材の雑貨を生産



メガネ素材工房mamasでは、眼鏡フレームの材料、「アセテート」を使用したアクセサリーなどの雑貨の生産を行っています。恐竜の形のものなど、福井らしさを押し出した商品は、県内外から好評とのこと。今回、雑貨の生産を行ったきっかけなど、代表の山田佳世子氏と共同で事業を行う山元敏孝氏に詳しくお話を伺いました。

DATA

メガネ素材工房mamas

所在地:福井市上毘沙門町1-107-7
 代表者:山田 佳世子氏
 事業内容:メガネ素材のアクセサリー、雑貨等の企画・製造・販売
 TEL 0776-97-6968



同社HPはコチラ!

震災復興支援で販売。売れ行き良く、本格的に生産開始

「東日本大震災の復興支援でアセテートを使用したキーホルダーを作り、販売したのが始まりです。当時拠点としていた新栄商店街の雑貨店舖に置いてみると、お客様の目にとまり、反応が良かったので本格的に生産してみようと考えました」と山田氏。こうして、眼鏡フレーム製造の会社を営む山元氏らの協力も得ながら、本格的な生産・販売を開始しました。

産地の強みを活かし、高品質の商品づくりを

山元氏は、「アクセサリーは、眼鏡フレームと同じ工程で生産しています。県外ではなかなか難しく、メガネ産地福井の強みを活かしてこそできることだと思います」と話します。商品は眼鏡の製造工程と同じ工程を辿り、仕上がりはツヤがあり、色・模様も多種多様なものになっています。



研磨作業の様子。小傷を無くし、ツヤを出していく。

「眼鏡に携わる人間として、仕上がりに妥協はできません。手作業の工程もあるので、大量生産というのは難しいですが、購入した方に、こうした想いを感じ取っていただければ幸いですね」。

また、都市部の百貨店等に出没している中では、「きれい」という理由で足を止める方も多いとのこと。山田氏は、「当初は、恐竜や眼鏡素材を使用しているという福井らしさを売りに、という考えでしたが、きれいな、かわいいと足を止めるお客様も多いのだと感じました」とこれまでの活動を振り返ります。

商品を通じて福井らしさを発信、ゆくゆくは世界にも

最後に両氏は、「商品を通じて、福井らしさを県内外の方に知ってもらい、ゆくゆくは世界にも発信していければ」と展望します。

内道の駅や、恐竜博物館のお土産品店等で主に販売されています。県外から訪れ、購入した方から問い合わせの電話が入ることもあり、「関西圏のお客様で、再度来られるという方もいます。こうしたお客様の反応は非常に嬉しいですね」と山田氏。都市部の百貨店・展示会への出展を重ねていくことで、OEMの受注も増えてきているそうです。



商品の一つ。アセテートは綿花由来で肌にも優しい。

新幹線開業に向け、「敦賀昆布」の新商品を開発

敦賀市の神楽1丁目商店街の一角に店舗を構える、増井弘海堂。来年で100周年を迎える同社は、新幹線開業に向け、昨年2月に新商品「THREE KONBU」を開発し、販売しています。今回、3代目の増井隆司氏に開発に至った経緯や、商品のねらいなど、お話を伺いました。



代表 増井 隆司 氏

DATA

増井弘海堂

所在地: 敦賀市神楽町1丁目1-12
代表者: 増井 隆司 氏
事業内容: 昆布の製造・販売
TEL 0770-22-1051



同社HPはコチラ!



同社は、様々な昆布商品を取り扱っている。

※1 昆布の表面を削ったもの。どうろ昆布は昆布の側面を削ったもので、加工方法に違いがある。

コロナ禍を機に商品開発、入りの商品を目標して

「敦賀昆布」の歴史は長く、「北前船」の寄港地であった敦賀に昆布がおろされ、職人の手で加工されていたという背景があります。加工品の一つに「おぼろ昆布※1」がありますが、地元の方たちから「声が多かったそうです。」「自分の中では常識だった違いが、認知されていないのだと気付きました。コロナ禍できた時間を無駄にしないよう、昆布への興味関心に繋がる、入り口になるような商品を開発しようと考えました」と増井氏は振り返ります。

食べ比べができる新商品、「THREE KONBU」が完成

新商品に、「昆布の興味関心に繋がる商品」というコンセプトを据え、商品開発をスタート。とろろ昆布1種類とおぼろ昆布2種類、合わせて3種類の昆布を食べ比べできるセット商品としました。「商品開発の難しさを痛感しましたが、私たちの場合、既存の商品を組み合わせてという形でしたが、それでも大変でしたね」と増井氏。パッケージのデザインも、当初は北前船の寄港地をイメージしたカゴ型のモノでしたが、運びやすさなども考慮し、キューブ型のパッケージに変更するなど、改良を加えていきました。



パッケージのデザインにも改良を加えていった。

その後、よろず支援拠点のコーディネーターらの協力も得ながら商品開発を進め、新商品「THREE KONBU」が完成。現在は、オルパークやお土産品店で販売されています。「私たちの強みは、自分の手で昆布の加工を行っているということ。削りたての味と、とろろとおぼろの違いを感じていただきたいですね」。

だしの味比べセットも企画、新幹線開業にも期待を

増井氏はまた、一刻一刻と迫る新幹線の開業について、「新幹線の開業は楽しみです。観光客の増加ももちろんですが、これまで通販で購入していただいた方との交流もできればと考えています」と期待を込めます。

同社は現在、だしの味比べセットも企画中。妻の智子氏はだしソムリエの資格を取得しており、だしの味比べもできれば、という想いから企画に至りました。また、来年の100周年に向けて記念グッズの企画なども進行中とのこと。敦賀昆布の認知度向上へ、挑戦は続いていきます。

よろず支援拠点 コーディネーターインタビュー 商品開発のポイントとは、

新幹線の開業が控える中、観光客向けの商品開発に取り組まれている方も多くはないでしょうか。今回は右頁で紹介した増井弘海堂の商品開発の支援も行った、よろず支援拠点の藤田CD(コーディネーター)に、商品開発のポイントなど、詳しくお話を伺いました。(本稿は藤田氏へのインタビューを元に再構成したものです)



よろず支援拠点 HPはコチラ!



福井県よろず支援拠点
コーディネーター
ふじ た じゅん いち
藤田 順一 氏

【プロフィール】株式会社フジタ・印刷 会長。2014年～福井県よろず支援拠点コーディネーターとして活動している。元北陸ナンバーワンブロガー、元NHKラジオ深夜便「日本列島くらしのたより」の福井県担当という経歴も持つ。

増井弘海堂様にはどのような支援を行ったのでしょうか。

自社の強みをしっかりと発信していきましょう、とお伝えしました。増井弘海堂さんの強みはおぼろ昆布の加工を行っていること。おぼろ昆布は表面を薄く削るため、機械での加工が難しく、職人の技術が必要です。なので、加工の様子を動画にして発信したり、SNSに投稿しましょうとご提案しました。自社の強みはどんどん発信していき、知ってもらうことが大切だと思います。

商品開発のポイントとなるのはどういった点でしょうか。

の開発の際には、西山CDとともに、パッケージ部分や商品説明の部分などをお手伝いしました。現在は、100周年に向けての企画などのお手伝いをしています。

最後にメッセージをお願いします。

私は相談者の方にもいつでも気軽に相談いただけるようにしたいと思っています。相談者の方がSNSをされているとその場でつながりを持ちます。そうすることで、簡単にメッセージのやりとりも出来ますし、気軽に相談できる環境になると信じています。これまで多くの相談を受けて、たくさんのご縁をいただきました。すぐに結果につながることはなくても、後々企業連携や取引先としてご紹介する機会は今後もたくさんあります。経営に関して何か小さなことでもお困りごとや相談がございましたら、是非、私たち福井県よろず支援拠点にご連絡ください。お待ちしております。

福井の土産考

(公財)ふくい産業支援センターデザイン振興部では、12/7~1/30の期間、福井土産の展示イベント、「福井の土産考」を開催しました。

福井県内の6つのセレクトショップが個性豊かな視点で選定した福井土産を多数展示しました。会場では、セレクトショップ店主たちへのインタビュー動画も流れていました。ここでは、展示品の一部をご紹介します。



SEKISAKA



STAND (Gray)

大阪を拠点に活動するデザインレーベル・Oy (オイ) とのコラボレーションにより生まれた商品 (多目的容器) です。

AFTERGROW CHOCOLATE



クラフトチョコレート

敦賀の鍛造職人が作るクラフトチョコレートです。自動販売機で販売されています。

長田農園



長田農園の手ぬぐい

あわら市北潟地区にある長田農園の手ぬぐいです。春夏秋冬の野菜がイラストになって並んでいます。

ツカモト民芸センター



うるしダルマ

漆を何層にも塗り固め、割ってだるまの顔を描いています。どっしりとしていて愛らしい表情です。

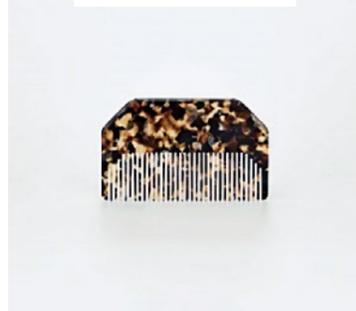
浅野耕月堂



まつ乃露

キノコのようなかたちをしたお菓子。松林に生息する「松露」というキノコのかたちを表しています。

TUCOT ÈMINE



眼鏡素材でできた櫛

眼鏡のセル枠に使用される素材です。コロナ禍の中、新しい何かをと眼鏡会社のスタッフが考えたものです。

(公財)ふくい産業支援センター
デザイン振興部

〒915-0096 越前市瓜生町5-1-1
(サンドーム福井内) TEL 0778-21-3154

お問合せ先

福井の土産考のHPはこちら
(インタビュー動画もこちらから)



クリームチーズと福井県産食材をコラボ 販路拡大を通じて認知度向上へ



同社HPはコチラ!

福井市で観光お土産品や、食品の製造を行う有限会社米又。「永平寺朝がゆ」や、「永平寺胡麻豆腐」などを手掛ける同社は昨年、福井県産の梅とクリームチーズを合わせた、「うめクリームチーズ」を開発、販売しています。今回担当の池澤倫和氏に詳しくお話を伺いました。



池澤 倫和 氏

DATA

有限会社米又

所在地: 福井市文京7丁目27-2
代表者: 八木 英一郎 氏
事業内容: 観光土産及び一般流通食品の製造卸業
TEL 0776-26-1019



うめクリームチーズ。

地元食材へのこだわりから、クリームチーズとのコラボへ
同社は、福井県産の食材を使用した商品を多く展開しており、同社の代表商品である、福井県のコシヒカリを使用した「永平寺朝がゆ」もその一つです。「できる限り福井県の食材を使用した商品をと、という考えのもと、最初に開発・販売したのが梵の酒粕に漬けたクリームチーズです。これが好評だったので、様々な食材とクリームチーズを合わせてみようと考えました」と池澤氏。次に、福井県産の醤油、みそと合わせたクリームチーズを開発。池澤氏は、「次は、嶺南の特産品である梅と合わせてみようと考えました」と振り返ります。

販売を広げ、福井県産食材のPRにも
開発にあたっては、おもてなし産業魅力向上支援事業(商品開発)を活用。梅を細かい粒状に加工するための機械を導入し、商品開発に取り組みました。「粒を残しながら梅の酸味・塩味とクリームチーズの甘みのバランスをとるのに、苦労しました。配合を変えて試作を重ね、商品にすることができました」。完成した「うめクリームチーズ」は、パンやクラッカーに塗る、料理やお菓子の材料に使用する、お酒のおつまみとしてなど、その用途は様々。現在は、同社のECサイトや県内外のリカーショップなどで販売されています。

酸味と甘みのバランスに苦心するも、商品が完成
また、「昨年福井は、そばがおいしい都道府県ランキング1位になるなど、明るい話題もあります。まだまだ食に関するPRの余地はあります」と池澤氏。「今後もできる限り地元食材を使用した商品を展開していきたい、また、そうした商品の販売を伸ばしていくことで、地元食材を全国へ発信していければ」と力を込めます。



うめクリームチーズの盛り付け例。

NEW!

商店街等空き店舗対策支援事業

北陸新幹線県内開業等に向け、新型コロナウイルス感染症により商店街や商業施設の空き店舗等が埋まらないという課題を解消するため、県内の中小企業者等が空き店舗等へ出店する取組みを支援します。

ポイント

○補助対象 商店街等に店舗を開設し、小売業等、飲食業、宿泊業、サービス業のいずれかの事業を行う者

○助成条件 助成率 2/3 助成限度額 3,000千円

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 経営支援部 資金支援グループ
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16
(福井県産業情報センター4F)
TEL:0776-67-7406 FAX:0776-67-7419

デザイナー派遣

デザイン開発を進める企業に対して、専門のデザイナーを派遣します。

ポイント

○利用者負担 専門家謝金の1/2

○利用回数

1企業1事業年度につき6回まで

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター デザイン振興部
〒915-0096 福井県越前市瓜生町5-1-1 (サンドーム福井内)
TEL:0778-21-3154 FAX:0778-21-3155



グループカウンセリング

第一線で活躍するデザイナーなどによる地場産品の産地ブランディングを行います。

ポイント

○指導回数

1グループ2回まで

ふくいの県産品マッチング機会創出支援

大規模展示会への出展支援、個別商談会の開催を通して、販路開拓をサポートします。

●「東京インターナショナル ギフト・ショー秋2022」へ県ブースを出展 **雑貨**

時期:令和4年9月7日(水)~9日(金) 会場:東京ビッグサイト

●「スーパーマーケット・トレードショー2023」へ県ブースを共同出展 **食品**

時期:令和5年2月15日(水)~17日(金) 会場:幕張メッセ

●個別商談会(時期:未定) 年3回程度のオンライン商談会を予定。

●テストマーケティング

上記を利用して商談成立したバイヤー企業(県外)へ出向きテストマーケティングする際の旅費(上限2万円)を助成。

詳細が決まり次第、HPでご案内します。



お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 経営支援部 営業推進グループ
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センター4F)
TEL:0776-67-7407 FAX:0776-67-7419

令和4年度 各種支援事業情報

当センターでは、様々な事業で県内企業の取組みを支援しています。ここでは、特集に合わせ、新年度に募集が始まる地域資源の活用や、観光関連に役立つ事業の一部をご紹介します。

※詳細は順次HP等でお知らせいたします。

予告なしに変更となる場合もございますので、ご了承ください。

支援センターのHPはこちら→



ふくいの逸品創造ファンド

県内の特色ある産業資源(福井の強み)を活用し、顧客ニーズを的確につかんだ新商品・新サービスの開発(試作や求評活動)や県内外への販路開拓(展示会出展や広報宣伝活動)にかかる経費を助成します。

ポイント

○補助対象 県内に事業所を有する中小企業者等

○助成条件

(ア)産業資源を活用した新商品開発および販路開拓

【助成率】中小企業者1/2 小規模企業者2/3

【助成限度額】2,000千円

(イ)産業資源を活用し直近3年以内に商品化した商品の販路開拓

【助成率】中小企業者1/2 小規模企業者2/3

【助成限度額】1,000千円

NEW!

ふくいの地域経済循環ファンド ~新事業チャレンジステップアップ事業~

ふるさと産業の成長発展の促進を図るため、ふくい地域経済循環ファンドの運用益で、高い成長意欲と優れた技術を持つ中小企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取組みに対して助成します。

ポイント

○補助対象 県内中小企業者のうち年間売上高が10億円未満の者

○助成条件 助成率 2/3 助成限度額 5,000千円

※経営戦略のブラッシュアップに向けたコンサルティング等の経費について1,000千円上乗せ支援

おもてなし産業魅力向上支援事業

北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道大野油坂道路供用開始をひかえ、おもてなし店舗等における観光客等の受入れ態勢強化に向けた店舗・施設改装や設備導入の取組みに対して助成します。

ポイント

○補助対象 食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設

○助成条件 助成率 2/3 助成限度額 3,000千円

第7回 福井ベンチャーピッチ開催報告 後編

「福井ベンチャーピッチ」とは、成長意欲の高いベンチャー企業に対して、VC、金融機関等の前でセールスプレゼン（ピッチ）する機会を設け、登壇企業の資金調達や販路拡大、ビジネスマッチングを促進し、全国への足がかりをつくる機会を提供するイベントです。

開催日時 ● 2021年11月17日(水)
参加者数 ● 256名(会場参加者83名・オンライン参加者173名)
主催 ● 公益財団法人 福井産業支援センター

ふくい産業支援センターでは、2021年11月17日に、第7回「福井ベンチャーピッチ」を開催いたしました。本イベントは3部構成となり、第1部では、福井県知事 杉本達治氏とユニフォームネクスト株式会社 代表取締役 横井康孝氏をゲストスピーカーに迎え、「福井発ベンチャーへの期待」と題してオープニングセッションを行いました。

第2部では、福井県の中小ベンチャー企業5社によるビジネスプレゼンテーション、ベンチャーピッチを行いました。第3部では、リーダー・インビテーションとして、コネクフリー株式会社 代表取締役CEO 帝都久利寿氏に「サイバーバレー宣言：福井は日本の西海岸！」と題してお話いただきました。

本稿では、福井ベンチャーピッチに登壇された5社の感想を、前編・後編に分けてお届けします。

「つぶす・まげる・みがく ～眼鏡で培った技術を異業種に～」

有限会社北陸ペンディング
代表取締役 萩原 勉氏(50代)



期待事項：業務提携／販路拡大
設立年：1993年
主な事業：ペンディング加工、
精密曲げ加工、精密圧延加工 等

プレゼン発表の様子は
2022年3月末まで
視聴できます

業務多忙な中、福井ベンチャーピッチ登壇に向けての2か月間（のメンタリング期間）は本当に大変で、今日の日が早く終わらないかと内心ずっと思っていました。でも今日登壇して、本当によかったと思っています。いい勉強をさせてもらいました。

ユニフォームネクストの横井社長から「もっと攻めろ！」と言われたことが、特に印象に残りました。



「AI型オンライン学習管理システム(LMS) で世界中の小中学生にバイリンガル 教育を提供する」

株式会社ボナムエデュケーション
代表取締役 藤田 侑平氏(30代)



期待事項：資金調達
設立年：2015年

主な事業：英語教育事業、学校・教室運営、フランチャイズ、
コンサルティング、コンテンツ販売事業 等

プレゼン発表の様子は
2022年3月末まで
視聴できます

ピッチ登壇は初めての経験でした。2か月間のメンタリング期間の過程で、厳しいことを言われる場面も多々ありましたが、そういう風に本気で向き合ってくれる環境がむしろ有り難く、すごくいい経験をさせてもらいました。

これからが本当の始まりです。まだまだ小さい会社ですが、さらにブラッシュアップをしていって、未来に向かっていきたいと思っています。



「加工による水産物の活性化を目指して」

株式会社鮮魚丸松
代表取締役 五島 輝幸氏(40代)



期待事項：資金調達
設立年：2016年

主な事業：鮮魚卸・小売・飲食業

プレゼン発表の様子は
2022年3月末まで
視聴できます

福井ベンチャーピッチに登壇して、久しぶりに刺激的な一日を過ごさせていただきました。すごくためになる経験でした。アドバイザーの方からいろいろなお話も聞けて、今後の経営に役立てたいと思います。

2か月間のメンタリングの過程では、いろいろな方に自分の事業計画を聞いていただきました。さまざまなフィードバックをいただく中で、もっともっとブラッシュアップして、たくさんの人に喜んでいただける会社になっていけたらいいなと思いました。今後も助言をビシビシと言ってもらいたいです。



今回の「福井ベンチャーピッチ」は2022年秋頃に開催する予定です。登壇に興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。なお、イベントの詳細はこちらのブログ記事でもご覧いただけます。

https://www.s-project.biz/staff-blog/fvp_7

執筆者：新産業支援部 ベンチャー・EビジネスG 岡田留理



よろず支援拠点 経営Q&A

インボイス制度の
基礎知識



疑問の概要

課税売上が1000万円未満なので消費税は免税なのだが、インボイス制度が導入されるとどんな影響があるのだろうか。

インボイス制度とはどういうものか

インボイス制度について、国税庁のホームページでは次のように記載されています。

適格請求書（インボイス）とは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。

インボイス制度とは、

＜売手側＞売手である登録事業者は、買手である取引相手（課税事業者）から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません（また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります）。

＜買手側＞買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手（売手）である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。

買手は、自らが作成した仕入明細書等のうち、一定の事項インボイスに記載が必要な事項）が記載され取引相手の確認を受けたものを保存することで、仕入税額控除の適用を受けることもできます。

登録事業者とはこの適格請求書の発行事業者として国税庁に登録された事業者ということです。

課税売上が1000万円未満の事業者は免税事業者ですが、このインボイスを発行するためには、課税事業者を選択して、適格請求書発行事業者の登録が必要となります。

免税事業者の対応策

既に課税事業者となっている場合は登録を申請するだけで、基本的な手続きは終わります。最終的に発行している請求書がインボイスとして通用する内容になっているかどうかの問題で、それがクリアできていれば特に何かしなければならないということはありません。

問題は免税事業者です。これまで納付しなくてもよかった消費税をきちんと計算して納付しなければなりません。益税と言われてきた処理ができなくなります。

ただし、取引先の形態によって対応は分かれます。

【販売先、顧客が一般消費者の場合】

この場合、購入した人は支払った消費税額を気にする必要がありません。なぜなら、消費税の申告をしない、あるいはする必要がないからです。この場合は免税事業者のままでも特に問題が起きることはないでしょう。

【販売先、顧客が法人、あるいは事業者の場合】

この場合は問題です。支払った消費税に関してインボイスがないと「消費税を支払った」と認められなくなり、顧客側は支払う消費税額がその分加算されることになります。（期限付きで特例があります。）

同じ商品やサービスであれば、インボイスを発行してくれる事業者から買えば支払い消費税を控除できるので、そちらから購入するということになる可能性が高くなります。そのため、課税事業者となってインボイスを発行できるようにしなければ、取引を継続してもらえなくなるかもしれません。

インボイス制度に対応するための手順

この制度が開始されるのは2023年10月1日からです。それまでに適格請求書発行事業者の登録をしておきましょう。

免税事業者が適格請求書発行事業者の登録を受けるためには、登録申請書に加えて「消費税課税事業者選択届出書」を提出し、課税事業者となる必要がありますが、2023年10月1日を含む課税期間中に登録を受ける場合は、登録を受けた日から課税事業者となる経過措置が設けられています。この場合、「消費税課税事業者選択届出書」の提出は必要ありません。また、登録日以降は課税事業者となるため、消費税の申告が必要になります。適格請求書発行事業者の登録申請は昨年10月1日から開始されているので、今すぐでも申請可能です。

次に見直すべきは会計処理です。消費税を計算するためには、そのような会計処理が必要です。税抜きでも税込みでも構いませんので、消費税対応の会計処理ができるようにしておきましょう。一般的な会計ソフトを活用していれば、特に問題はないはずですが、古いソフトの場合は適格請求書が発行できない可能性がありますので、インボイス制度に適合した請求書が発行できるかどうかを確認して下さい。

国税庁の専用サイトでは、制度の概要や手続きについて、動画なども含めて分かりやすく開設されていますのでご参照下さい。

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

福井県よろず支援拠点では、経営のさまざまな課題に専門家が無料で何度でもご相談に応じています。お気軽にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

福井県よろず支援拠点
TEL:0776-67-7402 E-mail:yorozu@fisc.jp





春江電子株式会社

所在地：坂井市春江町江留上緑6-6
代表者：山口博司氏
資本金：1,500万円 従業員数：44名
事業内容：電子部品製造、産業用機械設計・製造、
超小型人工衛星設計
TEL：0776-51-0582



同社HPIはコチラ!



代表取締役 山口博司氏

今月の 注目企業

超小型衛星設計で、 県の宇宙産業創出に貢献

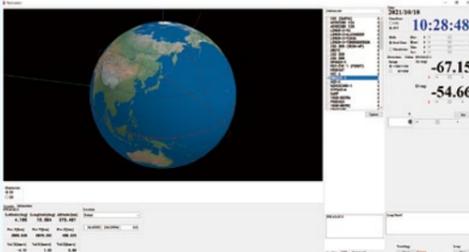
春江電子株式会社

今回紹介する春江電子は、坂井市春江町にある1980年設立の企業。電子部品製造、産業用機械設計・製造と事業を広げ、この数年は宇宙分野にも熱心に取り組んでいます。同社が宇宙産業に関わった経緯や今後の展望などについて、代表取締役の山口博司氏に伺いました。

産業用機械の技術を活かし 衛星追尾システム開発も

同社が宇宙産業と関わりを持ったのは、2015年に福井県が発表した県民衛星構想がきっかけでした。同社はかねて産業用ロボットの設計製造の実績を重ねており、その技術力を買われて県民衛星プロジェクトへの参加打診があったといいます。

他方で同社は、福井県工業技術センター、ふくい産業支



(上)同社が設計した「移動式小型アンテナ」。衛星を追尾する。
(下)人工衛星追尾アンテナ用のアプリ画面の一部。

援センター、県内のものづくり企業などからなる「ふくい宇宙産業創出研究会」にも参加。福井県産の衛星を創ると

いう目標の下、東京大学、宇宙航空開発機構（JAXA）、宇宙ベンチャー企業などでの研修を経て、受注・納品などの取組みを進めていきました。その取組みは着実に形となっており、県内で設計・組み立てを行った超小型人工衛星数機がすでに打ち上げられています。人工衛星は県外の

学術機関からの発注で、同社は仕様書に基づいた設計を担当しています。

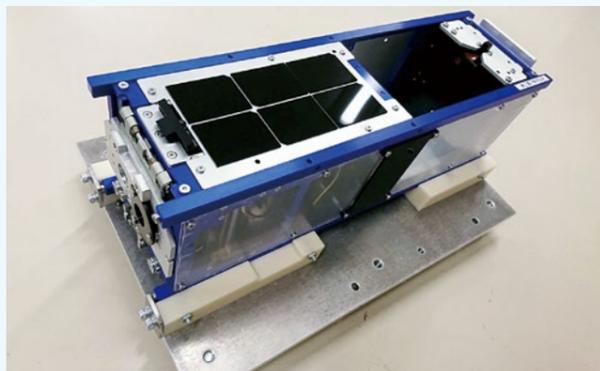
山口氏はこう話します。「宇宙関連のものづくりでいちばん難しいのは、いったん打ち上げられたら修理ができないこと。打ち上げ時にかかる10Gもの重力加速度に耐える一方、軽量化を追求しなければなりません。紫外線や極端な温度変化に耐えうる材料を選ぶ必要もあり、高いレベルでのものづくりが求められ

ます」

最近のトピックは、平成28年度産官学金連携技術革新推進事業補助金事業である「高速移動体の高速・高品質通信技術の開発」。同社、福井テレビ、福井大学などとの連携による共同研究で、移動式小型アンテナと福井県産の超小型人工衛星とを結び、映像中継の機動力を高めようとする取組みです。

人工衛星は高速で移動するため、安定した通信の維持に衛星の仕事をやっているとはすごいですね」という声もよくいただくようになりました。そうした評価が、社員の士気やモチベーションの向上にもつながっています」

電子部品の製造を振り出しに国内大手メーカーとの取引を重ねてきた同社が、宇宙産業と関わり始めて約6年。近年の取組みを通じて、自社の技術力が宇宙産業の先導役に通じていることに山口氏は大きな手応えを感じています。「福井県の県民衛星プロジェクトもいよいよ盛り上がりを見せています。商用ベースに乗るにはまだ時間がかかるかもしれませんが、県全体で一つの産業として確立するよう、これからもチームの一員としての役割を果たしていきたいです」と力を込めます。



同社が設計している超小型人工衛星の試作モデル。

地上アンテナの自動追尾が欠かせません。この研究で同社は、海外から取得できる衛星の位置情報を基にアンテナの角度や方角などを制御する通信プログラムの開発を担当。産業用機械分野で培った自動制御技術をうまく活用し、研究の推進に貢献しています。

「創造と挑戦」掲げ エンジニア活躍の場提供

取材中、山口氏は幾度となく「宇宙は実のところ本業とあまりつながりがない分野ではあるのですが」と繰り返しました。それにもかかわらず、

県内の企業・団体などと共同研究に取り組み続けるのはなぜなのでしょう。

「一人のエンジニアとして見たとき、夢があり面白い世界だからという一言につきま。経営者としても、社内の優れたエンジニアをロボット分野だけに留めておくのはもったいないと感じます。JAXAなど日本の先端に行く学術機関と仕事ができるチャンスはそう訪れるものではなく、高いレベルのプロジェクトに関われる環境を社員に提供したいのです」

企業のモットーに「クリエイション・アンド・チャレンジ



2021年度グッドデザイン賞受賞



スポーツサングラス [スペック エスパス ES-1991] / 有限会社オプト・デュオ

コロナ禍で健康志向が高まる中、屋外スポーツやキャンプ等の嗜好が増えているが、太陽光紫外線の有害性が指摘されている。特にシニア層（40代～60代）が安心・快適に使えて目を保護できるよう、鯖江の眼鏡産地の技術・ノウハウにより実現した機能性（快適なかけ心地、遮光レンズ機能、省部品化）が特徴のスポーツサングラスを開発した。

機能性やスタイル面で従来の眼鏡フレームとは全く異なる発想により、ユーザーが快適に長く使える新たな製品を作る、という原点と鯖江産地の技術力、ノウハウを結集・融合させたスポーツサングラスを企画した。ヒンジレスといった特異性のあるスタイルと、頭部締め付けによる痛さやストレスを感じない、かつ安定した装着性を、再現性の高い超弾性βチタン合金と医療用具にも使われ肌に優しいエラストマ樹脂の融合により提案している。多彩なナイロン系樹脂製のフロントパーツを用いることで、単なる工業デザインだけではない、モダンアートとしての眼鏡の側面も持たせ、幅広い年齢層のユーザーの満足度も高める工夫を凝らしている。屋外でのスポーツ、レジャーでの使用を想定し、視界の歪みが起こりにくくようにフロント部のサイドを開放してレンズ面を独立させた状態でフラットに保たせ、かつフロント部分で太陽光を遮光する機能も確保している。

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 佐々木 千穂 色部 義昭 倉本 仁 橋倉 誠

健康志向やアウトドア志向が高まる中で生まれた新しいニーズやマーケットが深く丁寧に分析され、抽出された課題に対して新しい発想を持って製品提案がなされている点が素晴らしい。また、この製品が開発される過程で地場産業の経験や技術が大いに活かされ、それによって独自性を持つ製品が生まれたというストーリーも高く評価された。

第41回

福井県のグッドデザインを紹介
グッドデザインシンキング



グッドデザイン賞のWeb Siteもご参考に!

令和4年度 人材育成研修受講者募集中

令和4年度の中小企業産業大学の人材育成研修の年間カリキュラムが決定し、募集を開始しました！ぜひ貴社の人材育成にぜひお役立てください。

開催間近の研修 お申し込みはお早めに！

新入・若手社員が知っておくべき「モノづくり現場」の基礎知識

受講者の声



日時 ● 令和4年4月12日(火) 9:30～16:30

会場 ● 福井県中小企業産業大学校 (福井市下六条町16-15)

受講料 ● 20,000円 (消費税込)

対象者 ● 技術系・製造系部門の新入社員・若手社員

- 普段会社で仕事をしているだけでは教えてもらえない内容だったのでよかった。
- 「やるべき事」と「やってはいけない事」とを分かりやすく説明していただき、とても良かった。



その他、新入・若手社員向けの研修を実施します。企業の将来を支える人材の育成を支援します！

#タイムマネジメント

業務の効率を上げる！
若手社員のための
タイムマネジメント入門

日程: 令和4年6月29日(水)

受講料: 20,000円(税込) 定員: 25名

決められた時間内で主体的に業務に取り組み、成果を出すことを目的とし、本質的なタイムマネジメントスキルを習得します。

#思考力向上

柔軟で高い思考力を
身につける「3つの思考力」
向上セミナー

日程: 令和4年7月21日(木)

受講料: 20,000円(税込) 定員: 20名

3つの思考の基本と使い分けを学ぶことで、柔軟かつ質の高い考え方を習得します。多くのケーストレーニングを盛り込んだ実践型セミナーです。

#自律型社員育成

若手社員のための
「先読み仕事術」

日程: 令和4年11月1日(火)・2日(水)

受講料: 33,000円(税込) 定員: 25名

「上司からの指示の受け方」、「報告の仕方」などの仕事の基本を確認した上で、気配り・段取りの行き届いた仕事の仕方を学びます。

#伝える力向上

若手社員のための
「わかりやすく伝える力」
強化セミナー

日程: 令和4年7月22日(金)

受講料: 20,000円(税込) 定員: 25名

「話す」「書く」の両面から、ビジネス基礎力である「伝える力」の基本を学び、納得感を高める「伝える力」の強化を目指します。

お問い合わせ先



人材育成部(中小企業産業大学校)

電話 0776-41-3775 メール manabi@fisc.jp

お申込みはホームページから

中産大 検索

中産大研修一覧・詳細はこちら



DXデビューしませんか？

～県内企業のDX導入事例の紹介～

ふくいDXオープンラボは、DX技術の導入支援や人材育成を支援しています。
ここではDXラボを活用した県内企業のDX導入事例を紹介します。

IoTで複数工場内の織機の稼働状況を簡単、スピーディーに見える化

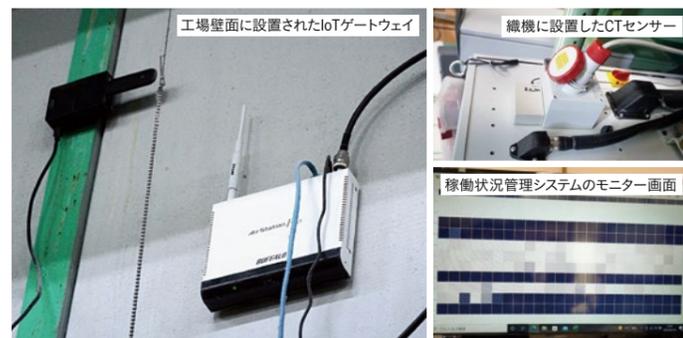
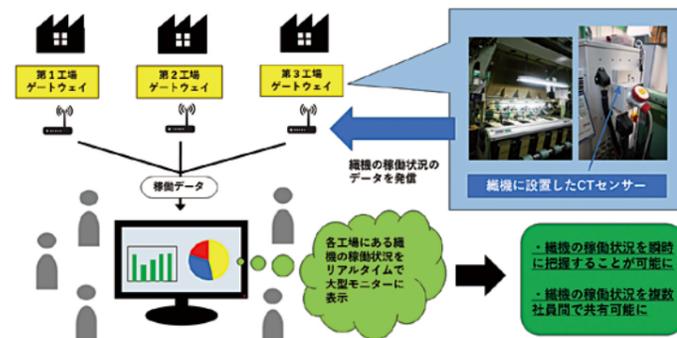
小杉織物株式会社は浴衣帯の製造では国内一のシェアを誇る企業です。当社保有の複数工場内にある65台の織機にIoT機器を設置することで、大量の織機の稼働状況が簡単かつスピーディーに見える化できるようになりました。現在は新型コロナウイルスの影響で帯の受注が減少したため一時的に製造品目を絹製マスクにシフトしていますが、感染拡大が終息すればIoT機器で収集したデータを活用して和装帯の生産を再開する予定です。

《導入機器》IoT技術を活用したリアルタイム稼働状況管理システム

工場内のすべての織機にCTセンサー※と発信機を設置し、織機から送信されたデータを受信するためのIoTゲートウェイを工場3棟に設置しました。またそれぞれの織機の稼働状況をリアルタイムで確認できるように、本社事務所内には大型モニターを設置しました。稼働状況を大型モニターに表示できるようになった結果、従業員間で共有できるようになりました。

※電流を検知するセンサーで、通電の有無により稼働状況を把握することが可能

「リアルタイム稼働状況管理システム」の仕組み



会社概要

小杉織物株式会社 [繊維商品製造業]

坂井市丸岡町猪爪5-3-1 代表者:小杉 秀則氏 TEL 0776-66-0255
URL <http://www.kosugi-orimono.co.jp> E-mail info@kosugi-orimono.co.jp

担当者の声

本システムを導入した結果、リアルタイムな稼働状況を瞬時に把握できるようになり、さらに大型モニターに表示することで、ミーティング時に従業員同士が織機の停止理由などから原因と対策を討論できるようになりました。また、クラウド活用により、工場外にいてもスマートフォンから稼働状況を確認できるようになりました。現在はAIに着目しており、今後はAIを活用した織機の停止原因を解析できるシステムを導入したいと思っています。

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター DX推進チーム
TEL:0776-67-7416 FAX:0776-67-7439 E-mail:dx-t@fisc.jp

オンライン総合相談窓口

令和4年度から「オンライン総合相談窓口」の相談体制を強化して皆様のご相談に対応します！

オンライン総合相談窓口では「頑張る県内中小企業」の課題解決をサポートしています！

令和4年度からは新たに2名のコーディネーターが加わり相談対応にあたります。ZOOMやEメールなどを使ったオンライン相談も可能ですので、遠方の方もお気軽にご相談ください。ご相談は**1回1時間**単位で**何度でも無料**でご相談いただけます。事前予約制となっておりますので、下記のQRコードからご予約の申込みをお願いします。

相談無料
秘密厳守

《総合相談コーディネーター》

月曜日	火曜日	水曜日
 加藤 永俊 【専門】経営全般、創業支援、マーケティング、経営革新、事業承継 【資格】中小企業診断士、JMAA認定M&Aアドバイザー	 佐治 眞悟 【専門】経営全般、技術全般、生産管理、ISO認証取得 【資格】中小企業診断士、技術士(総監・機械・建設)	 吉村 文男 新任 【専門】経営全般、創業支援、マーケティング、事業承継 【資格】中小企業診断士
	 佐藤 悟 新任 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、労務、事業承継 【資格】中小企業診断士、販売士1級、1級FP技能士ほか	 佐々木 孝美 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、SNS活用、事業承継 【資格】中小企業診断士ほか
		 津田 均 【専門】経営全般、マーケティング、流通・小売・サービス業の相談 【資格】中小企業診断士ほか
木曜日	金曜日	水・金曜日(嶺南)
 松田 博史 【専門】経営全般、現場改善、生産管理、事業承継 【資格】中小企業診断士、ものづくり改善インストラクター	 北島 宏樹 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、テレワーク導入 【資格】中小企業診断士、ソフトウェア開発技術者(IT系)	 前野 壽伸 【専門】経営全般、生産管理・生産技術、6次産業化支援 【資格】中小企業診断士

お知らせ

ミニセミナー(オンライン)の開催について

令和4年度から福井県よろず支援拠点と連携し、オンラインでのミニセミナーを定期的に開催する予定です。テーマは募集中の補助金の解説やインボイス対応など県内事業者の皆様のニーズの高いものをとりあげる予定です。

詳細が決まり次第、センターや福井県よろず支援拠点のHPでご案内します！



まずは「オンライン総合相談窓口」までお気軽にご相談ください！

嶺北 《事前予約制》

TEL 0776-67-7421

相談日時: 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談場所: 福井県産業情報センター 3F 総合相談窓口 (坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認いただけます。事前予約の方優先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

嶺南 《事前予約制》

TEL 0770-22-0031

相談日時: 毎週水曜日・金曜日 9:00～17:00

相談場所: アクアトム2F 嶺南サテライトオフィス (敦賀市神楽町2-2-4)

※水曜日/金曜日に前野コーディネーターが相談対応しております。ご予約がない場合は、企業訪問等で不在の場合がありますので、相談を希望の場合は必ず事前予約をお願いします。

総合相談窓口
ホームページ



相談予約は
こちらから！



令和4年度 IT研修受講者募集中

令和4年度IT研修の年間カリキュラムが決定し、募集を開始しました！
業務ソフトの操作習得やWebサイトの制作、DX人材の育成など、企業の業務に役立つ幅広いカリキュラムを取り揃えました。ぜひ本研修を貴社の人材育成にぜひお役立てください。

研修内容の詳細を掲載した
研修ガイドブックを、
ご希望の方に無料で
お届けしております！



4月開催の研修 人気の講座がそろっています。お申し込みはお早めに！

Illustrator入門

～これから始める方のための初歩の初歩～

Illustratorの基本をゆっくり分かりやすく解説する講座。実際にソフトを操作しながら進めていきますので、初めての方でも安心の講座です。
※4/22(金)には「Photoshop入門」も開催します。

日時 ●4月15日(金) 9:00～17:00
受講料 ●7,480円 (税込・テキスト料込)
定員 ●12名
講師 ●フリーランスデザイナー 高柴 典子 氏



実習
中心

Word2019の使いこなしで 業務効率化基礎

～基本操作から応用技術まで～

Wordの基本操作から応用的な機能までの操作方法を解説します。ビジネスシーンで役立つ効率的な操作やルールまでを身に付けることができます。

日時 ●4月19日(火) 9:00～17:00
受講料 ●7,040円 (税込・テキスト料込)
定員 ●12名
講師 ●(株)ブリッジ 長谷 美左子 氏



実習
中心

【注目の新講座】

- スマホ & SNS時代の企業採用活動の新常識
- RPA入門 ● kintoneで学ぶ業務アプリケーション作成
- Googleアプリのビジネス活用入門
- 進化し続ける！ SNSを活用した集客・販促のノウハウ



ホームページからも申込みOK
<https://www.fisc.jp/pckuoza>

お申し込み・
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部

〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
TEL 0776-67-7411 (IT研修担当) Email ebiz-g@fisc.jp

「スーパーマーケット・トレードショー2022」で 県内食品事業者が自慢の逸品を売り込みました

ふくい産業支援センターは、県産食品の全国への販路拡大を支援するため、国内最大規模の食品展示会「スーパーマーケット・トレードショー2022」(以下「SMTS」)において、敦賀商工会議所との合同による「福井県ブース」を設置しました。参加企業は県内食品事業者22社。素材や製法にこだわった地域性が高い県産食品を全国の食品バイヤーに向けて提案しました。



スーパーマーケット・トレードショー2022

<http://www.smts.jp/jp/index.html>

会期: 令和4年2月16日(水)～18日(金)
会場: 幕張メッセ(千葉県千葉市)
主催者: (一社)全国スーパーマーケット協会
来場者数^(※): 3日間計 42,885名
(昨年比+16,500名)

福井県ブースの出展者(五十音順)

ふくい産業支援センターから ●(株)ベントフォーク (旧アジチファーム)、新珠製菓(株)、(有)井上菓匠、小浜海産物(株)、(株)北前船のカワモト、(株)五月ヶ瀬、(有)粹、(株)武生製麺、タナカ農産(株)、(株)千鳥苑、ナイトスイーツパー サリチェ、福井缶詰(株)、(株)プレジュール、ホクチク(株)、まるたけ蒟蒻(有)、(有)御園飯店、(株)宮田食品、横井チョコレート(株)
敦賀商工会議所から ●(有)Akasha、敦賀昆布(株)、パティスリー ウフ、(株)花舎



明るい福井県ブースで多くの商談機会

国の緊急事態宣言下で開催された昨年2月のSMTSよりも、来場者数が大幅に増加しました。そして、今回の福井県ブースでは各社の商品PR用パネルにLEDを採用したことから他県ブースと比べても非常に明るく、注目度は抜群。多くの方が足を止め、出展者の話を聞いていただきました。

プレゼン・試食タイムで“良い流れ”

コロナ対策を万全に整えた上で、全出展者が試食を提供しました。また、福井県ブースとして「プレゼン&試食タイム」を設け、全社の商品のPRと試食提供を行いました。試食をした来場者が、その商品のブースに立ち寄り商談するといった流れもでき、効果も大きかったです。

質の高い商談が実現

昨年よりも来場者が増えたとはいえ、SMTSへの派遣を制限している企業も多いようで、まだまだ来場するバイヤーが少ないのが現状です。しかし、そんな状況だからこそ、目的を持って商品を探しに来られる真剣なバイヤーが例年以上に増え、質の高い商談を行う方も多くいらっしゃいました。

出展者の声(アンケートから)

- お客様が求めている商品の傾向を直にお聞きすることができた。また、実際に試食していただき、反応や感想を直接見ることができた。
- コロナ禍の中、貴重な新規取引先獲得のチャンスを受けた。
- コロナ禍だからこそ「本気度」の高いお客様、商品開拓の意識の高いお客様が多く、内容の濃い商談ができた。
- 過去のSMTS出展で取引開始したバイヤーとの更なる拡販の話があった。
- OEM製造の見積依頼を複数社から受けた。また、商談したバイヤーが会期終了後に来社された。

営業活動が制限される状況の中、リアルの展示・商談会はやはり効率的に商談できる貴重な機会です。令和4年度においても展示会への出展へのサポートや商談会の実施等で、販路開拓をサポートします。(P10参照)

担当部署: 経営支援部 営業推進G

URL <https://www.fisc.jp/business/>



情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！
「ふくいナビーふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト」
をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。

「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストなどを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメールマガジン『週刊!ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

お問い合わせ先 ふくいナビ運営事務局
[(公財)ふくい産業支援センター 総務部]
TEL.0776-67-7414 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号
VOL.53 5月25日発行予定
チラシ提出締切日：5月18日(水)
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) 願います。

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A 4判以下のチラシ	6,600円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,900円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>
総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。

今号では、観光視点での事業展開、地域資源を活かした事業展開を特集のテーマとしてお話を伺ってまいりました。お話を伺っていく中で、改めて福井ならではの資源や強みを認識することができました。また、こうした強みをしっかりと発信し、伝えていくことが重要だと感じました。

私事ですが、F-ACTの担当となり1年が経過しました。先日はアンケートで様々な意見をお寄せいただき、ありがとうございました。年間を通して様々な企業様のお話を伺うことができ、勉強になりました。取材にご対応いただいた皆様には、改めて御礼申し上げます。来年度も皆様のお役に立つ情報を発信していきますので、よろしくお願いたします。

次号の発刊は5月25日です。今後ともご愛読、よろしくお願いたします。



農家民宿中村屋「独楽」

農家民宿がリニューアル、
新幹線開業も見据えて

2018年、中村隆喜氏が退職を機に開業した、農家民宿中村屋「独楽」。「農家民宿」とは、「農山漁村の生活及び文化に触れる体験等を提供できる宿泊施設」とされており、県内には約40軒存在します。「県内の農家民宿数は全国的に見て少ない状況で、前職でお付き合いのあった方から依頼を受けたのが開業のきっかけです」と中村氏。開業後は、国内外の修学旅行生の受け入れを行いながら、民泊サイトにも登録。これまでに500名以上の宿泊者が訪れています。

昨年、今年と新型コロナウイルスの感染拡大により宿泊者が減少したのを機に、露天風呂の設置と2階部分の改装を行いました。露天風呂からは、山々の杉木立を見ることができ、2階部分には、瞑想スペースも設けました。「宿泊者が減少したことは残念ですが、前向きに捉えて改装を行いました。新幹線の開業といった明るい話題もありますし、より良い場所にしていきたいですね」。感染拡大前には、海外からの旅行者も多く宿泊しており、中村氏は「海外からの宿泊者の方の話を聞いていると、様々な発見があり、自分も旅行した気分になります。収束後にはまた外国の方にも利用してもらいたいですね」と話します。

農家民宿中村屋で農村の文化に触れながら、落ち着いたひと時を過ごしてみたいか？

活用事業：令和2年度 おもてなし産業魅力向上支援事業(店舗改装・設備導入)

ご来店
お待ちしております！



農家民宿中村屋「独楽」

住所：越前市大屋町26-20
TEL：0778-22-3792
営業時間：チェックイン 15:00～
チェックアウト 11:00
(要予約)

話題の
新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットに「ナンゴ」編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.24

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.

全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

02.

組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.

海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

福井支店 〒910-0005 福井市大手3-14-9 TEL:0776(23)2090

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金